



第 14 号  
2024 年  
7 月 21 日

## 北関東教区・東京教区 合同聖職按手式

### 参列者からの声

6月29日、神田キリスト教会において両教区合同の聖職按手式が執り行われ、ミカエル・ヨシユア大山洋平司祭、パウロ福永澄執事が誕生しました。参列者より喜びの声、お二人へのメッセージをいただきましたので紹介いたします。

\* \* \* \*

大山新司祭おめでとうございます。初めてお会いたしたのは、小学1年、大宮聖愛教会日曜学校に入った時でした。帰りの祈りの時にも積極的に手を挙げたり、バザーの手伝いをしたり活躍してくれました。洗礼堅信を受ける際、教父を務めました。特に教えたわけではありません。あなたは色々な困難を経験して今日を迎えました。人の声に耳を傾ける事を大切にし、神様と人々に愛される司祭として益々の活躍をお祈りいたします。  
(大宮聖愛教会 テモテ江川崇)

大山様、おめでとうございます。道のりが神様の祝福で満たされ、素晴らしい出会いと成長がありますよう応援しています。榛名に赴任し高崎にも兼任になり、ありがたく思っております。運営について語り合ったり、食事をしたりしています。特に食事については、舌が肥えていて美味しい店を紹介しています。素晴らしい聖堂で按手を受ける姿は、緊張気味ですが遅く見えます。自己研鑽を図り教会と信徒のため励んでいただきたいです。

(高崎聖オーガスチン教会アンセルム清水透)

大山先生は、神学生時代に当教会で2年間主日実習をされました。あれから約10年、北関東と東京教区合同聖職按手式で司祭按手を受けるとは、まさに神のみぞ知ること計画だったでしょう。今後のご活躍を祈念します。

(浅草聖ヨハネ教会 エステル土屋寛子)

執事按手おめでとうございます

マーガレット教会で共に過ごした日々が懐かしいです。また、ともに聖書に触れる機会が与えられることを願っています。小さな声に耳を傾ける聖職者であってほしいと願っています。本当におめでとうございます。

(聖マーガレット教会 クララ海宝良子)

今日の日を待っていました。

これからもイエス様の素直な歩み(道)を私たちにやさしく伝えてくださいね。

オメデトウ

(聖マーガレット教会 マルチン足立征二郎)

パウロ福永澄執事按手は聖霊の働き。まさに私たちの喜びです。主に感謝。

命満たす聖霊は

今ここに吹き来たり

選ばれたしもべのうち

尽きぬ愛を育む (聖歌300番より)

(聖パトリック教会 ミカエル松本利勝)

### ★次回巡礼企画のご案内

清瀬聖母教会・

聖フランシス聖エリザベツ礼拝堂

日時：9月7日(土)11時~15時

費用：昼食は各自持参。自由献金あり。

見どころ：全生園内、国立ハンセン病資料館

申し込み：9月1日 締切

junreiteam@googlegroups.com まで。

巡礼チームブログは下記 QR コードからご覧ください！



## 東京諸聖徒教会と浦和諸聖徒教会の合同礼拝

6月30日、宣教協働の企画として、東京諸聖徒教会と浦和諸聖徒教会の合同礼拝が、浦和諸聖徒教会にて斎藤徹司祭司式、太田信三司祭説教によりささげられました。太田司祭の「一緒に礼拝をささげられることを嬉しく思います。」と笑顔でのご挨拶が私たちにも嬉しさを共有できたような瞬間でした。

この日の福音はヤイロの娘の話で、有名な「タリタ・クム」です。太田司祭は説教の中で、『ただ信じなさい』『イエスはこの言葉を、今もなお伝え続けている。』と語られ、改めて「信じる信仰の深さを感じました。

聖餐式後は茶話会をしました。東京諸聖徒教会の皆さまの自己紹介から、浦和との絆が遠い過去から生まれていたことにも驚きや喜びがありました。神様からいただいた合同礼拝の時間は、小さな奇跡だと思いました。

外へ向かって信仰を深め、奇跡を知る喜び。「タリタ・クム」この言葉を聴くたびに、一緒にささげた合同礼拝と笑顔で過ごせた茶話会を思い出せずに違いありません。太田司祭、東京諸聖徒教会の皆さま、楽しい時間を頂きありがとうございました。再会を楽しみに待ちたいと思います。(浦和諸聖徒教会 マリア西谷郁子)

6月最後の主日30日に、東京諸聖徒教会と浦和諸聖徒教会の合同礼拝がありました。記念すべきこの合同礼拝は、東京のメンバーが浦和を訪れる形で行われました。

東京からは、下は中学3年生から上は93歳までの13名が参加し、浦和駅で集合したときには少々緊張気味でしたが、教会について礼拝堂に入るや、「雰囲気は東京諸聖徒によく似ている!」「初めて来たとは思えない!」と顔がほころんでいました。船底の形をした高い天井、中央の赤い絨毯をはさんで左右に並ぶ木製のピューに、奥行きのある内陣：共通点の多い礼拝堂ですがそれもそのはず、東京の諸聖徒も浦和の諸聖徒も、米国人宣教師アーサー・ロイド司祭によって礎が築かれた、まさに兄弟姉妹のような教会なのです。

説教の中で太田司祭もお話しされたように、2つの教会が集まって共に祈りをささげる光景を見たら、ロイド司祭はどんなにか喜んだことでしょう。この交流がこれからも続いていくことを願ってやみません。浦和の皆様ありがとうございました。次回の合同礼拝は東京で!

見よ、兄弟が共に座っている。  
なんとという恵み、なんとという喜び。

(詩133)

(東京諸聖徒教会 ノリッジのジュリアン博谷雪)

### ★北関東教区合同礼拝のおしらせ

9月16日(月・休)北関東教区「信徒一致の日」合同礼拝が立教学院聖パウロ礼拝堂(立教新座チャペル)で、高橋宏幸主教司式・説教によりささげられます。

北関東教区の皆さまはもちろんのこと、東京教区の信徒・教役者の皆さまにもご案内しておりますので、どうぞお出かけください。

礼拝後には、教区婦人会100周年記念バザーが催され、東京教区GFSなどもバザー出店にご協力いただいております。詳細は各教会・礼拝堂へ発信されております案内をご覧ください。

『きょうどう通信』へおたよりをお寄せください。宣教協働へのご意見・ご質問は下記メールアドレスまで。ご意見は「特別委員会」で共有します。投稿はすべてを掲載できませんが、ご了承ください。「晩夏」をテーマにした俳句・川柳もお待ちしております。俳号・匿名どちらでも可です。  
kouhou.k.t@gmail.com

『きょうどう通信』第14号

北関東教区・東京教区宣教協働特別委員会

広報小委員会